

福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ  
(8月30日 午後3時現在)

平成23年8月30日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

平成23年3月11日、当社・福島第二原子力発電所1～4号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、東北地方太平洋沖地震により、午後2時48分、原子炉が自動停止しました。（3月11日 お知らせ済み）

3月15日午前7時15分、4号機の原子炉が冷温停止状態となり、これにより当所の全号機（1～4号機）が冷温停止となりました。（3月15日 お知らせ済み）

8月30日午後3時現在、1～4号機は冷温停止中です（各号機の様子は別表参照）。引き続き、各号機の冷温停止状態のより一層の安定化に努めてまいります。

<下線部が新規事項>

**○2号機高圧炉心スプレイ補機冷却海水系ポンプ電動機の停止について**

本日、2号機高圧炉心スプレイ補機冷却系\*<sup>1</sup>内の水質調整のため、高圧炉心スプレイ補機冷却系および高圧炉心スプレイ補機冷却海水系\*<sup>2</sup>を運転していたところ、午後0時59分に高圧炉心スプレイ補機冷却海水系ポンプ電動機が停止いたしました。

その後、現場にて電動機の絶縁抵抗不良を確認したことから、午後2時10分に安全上重要な設備の故障と判断いたしました。

今後、原因について調査いたします。

本事象による外部への放射能の影響はありません。

なお、2号機は冷温停止中であり、必要な注水機能も確保していることから、当該設備がなくても保安規定による安全管理上の要求を満足しています。

添付図：高圧炉心スプレイ系 系統概略図

**\*1 高圧炉心スプレイ補機冷却系**

非常用炉心冷却系の1つで、原子炉水位が異常に低下した場合に、原子炉内に注水する設備を冷却するための系統。

**\*2 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系**

高圧炉心スプレイ補機冷却系を海水で熱交換し冷却するための系統。

**○3号機残留熱除去系（A）の復旧状況**

津波の影響で停止し、復旧作業をすすめてきた3号機の残留熱除去系（A）は、本日午前11時46分に試運転が完了し、待機状態となりました。

## ○協力企業作業員の体調不良について(続報)

平成 23 年 8 月 29 日、4 号機熱交換器建屋\*において、仮設ケーブルのルート変更作業を行っていた協力企業作業員 1 名が、体調が悪くなり熱中症が疑われたことから、J ヴィレッジへ当社の急患搬送車で搬送した後、いわき市立総合磐城共立病院へ救急車で搬送いたしました。

作業員の身体に放射性物質の付着はありませんでした。

(8 月 29 日 お知らせ済み)

同日午後 4 時頃、熱中症(1, 2 日の安静を要する。その間仕事は屋内にて軽作業に限定する)と診断されました。

今後も、作業環境の改善を進めるとともに、協力企業も含めて熱中症予防対策を呼びかけてまいります。

### \* 熱交換器建屋

原子炉建屋、タービン建屋、廃棄物処理建屋内で使用する設備の冷却水を、海水で熱交換し冷やすための機器を設置している建屋 (非管理区域)。

・ 次回のお知らせは、明日の午後 3 時を予定しております。

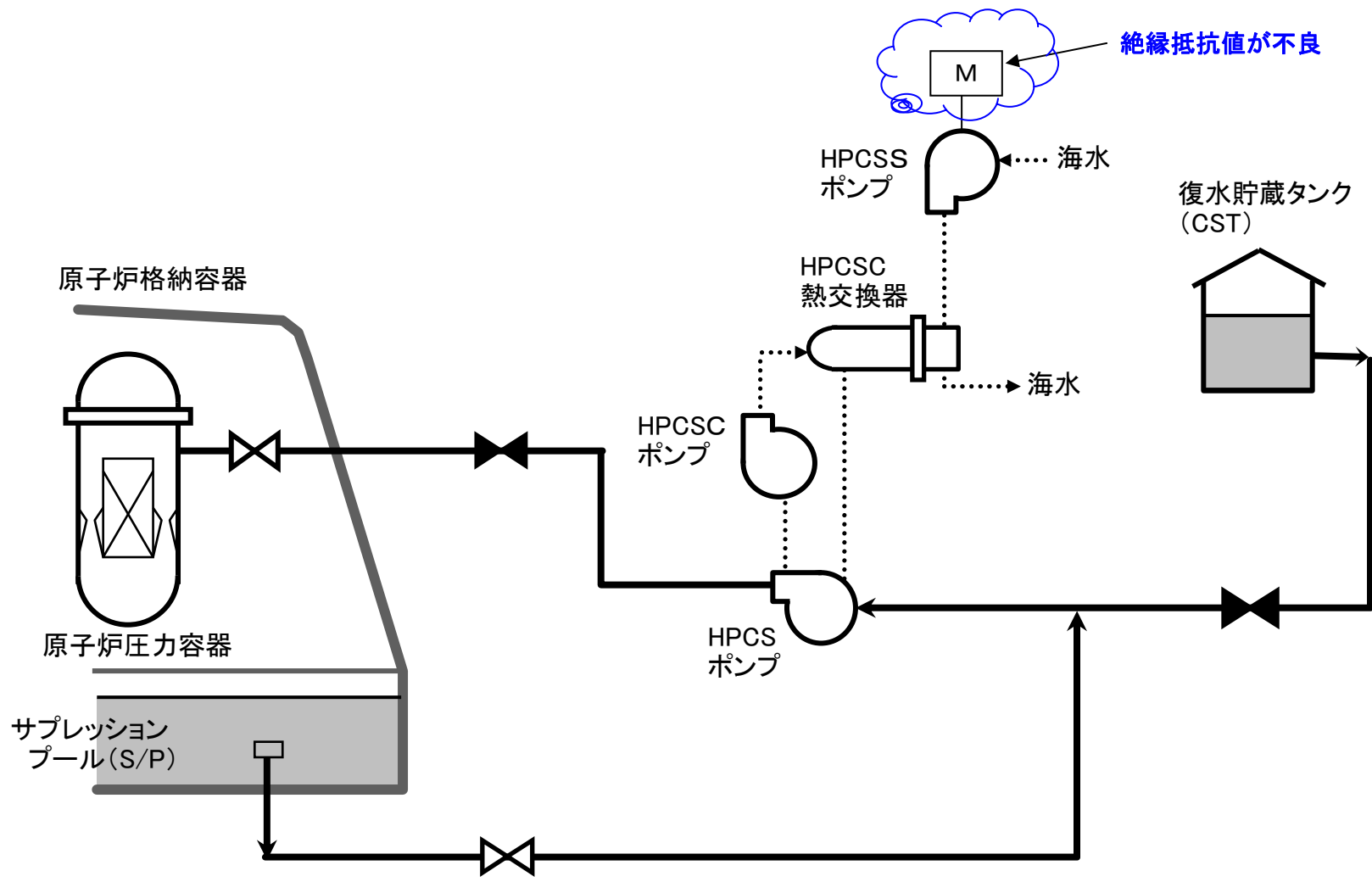
以 上

東京電力 福島第二原子力発電所 プラント状況（平成23年8月30日 午後3時現在）

別表

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉停止機能 （止める）	○原子炉自動停止（3/11 14:48） ○全制御棒全挿入中	○原子炉自動停止（3/11 14:48） ○全制御棒全挿入中	○原子炉自動停止（3/11 14:48） ○全制御棒全挿入中	○原子炉自動停止（3/11 14:48） ○全制御棒全挿入中
原子炉注水・除熱機能 （冷やす）	○残留熱除去系（B）運転（3/14～） ※残留熱除去系（A）は復旧作業中  ○原子炉冷却材浄化系運転（7/16～） 〔冷温停止時における代替除熱機能の確保〕  ○冷温停止*中（3/14～）	○残留熱除去系（A）運転（8/8～） ※残留熱除去系（B）は、3/14から運転していたが、8/8の残留熱除去系（A）への切替後、8/9から待機状態  ○原子炉冷却材浄化系運転（7/17～） 〔冷温停止時における代替除熱機能の確保〕  ○冷温停止*中（3/14～）	○残留熱除去系（B）運転（3/12～） ※残留熱除去系（A）は、8/30 11:46に試運転完了、待機状態  ○原子炉冷却材浄化系運転（6/6～） 〔冷温停止時における代替除熱機能の確保〕  ○冷温停止*中（3/12～）	○残留熱除去系（A）運転（8/3～） ※残留熱除去系（B）は、3/14から運転していたが、8/3の残留熱除去系（A）への切替後、8/4から待機状態  ○原子炉冷却材浄化系運転（6/4～） 〔冷温停止時における代替除熱機能の確保〕  ○冷温停止*中（3/15～）
格納容器（隔離・除熱） （冷やす&閉じこめる）	○格納容器内での冷却材漏えいなし  ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定（3/14、100℃未満復帰）  ○格納容器バント（格納容器内の圧力を低下させる措置）は実施なし	○格納容器内での冷却材漏えいなし  ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定（3/14、100℃未満復帰）  ○格納容器バント（格納容器内の圧力を低下させる措置）は実施なし	○格納容器内での冷却材漏えいなし  ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定（地震発生以前から継続して100℃未満）  ○格納容器バント（格納容器内の圧力を低下させる措置）は実施なし	○格納容器内での冷却材漏えいなし  ○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定（3/15、100℃未満復帰）  ○格納容器バント（格納容器内の圧力を低下させる措置）は実施なし
外部電源	受電有	受電有	受電有	受電有
非常用電源	非常用ディーゼル発電機(B) 2号機非常用ディーゼル発電機(A)(B)から受電	非常用ディーゼル発電機(A)(B)	非常用ディーゼル発電機(B)(H)	非常用ディーゼル発電機(A)(B)(H)
その他 異常等に関する報告	○3/11 17:35 原災法第10条特定事象（原子炉冷却材漏えい（格納容器圧力上昇）） →3/11 18:33 原子炉冷却材漏えいはなかったものと判断			
	○3/11 18:33 原災法第10条特定事象（原子炉除熱機能喪失） →3/14 1:24 残留熱除去系（B）起動により復帰	○3/11 18:33 原災法第10条特定事象（原子炉除熱機能喪失） →3/14 7:13 残留熱除去系（B）起動により復帰		○3/11 18:33 原災法第10条特定事象（原子炉除熱機能喪失） →3/14 15:42 残留熱除去系（B）起動により復帰
	○3/12 5:22 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象（圧力抑制機能喪失） →3/14 10:15 圧力抑制室の水温が100℃未満となり復帰	○3/12 5:32 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象（圧力抑制機能喪失） →3/14 15:52 圧力抑制室の水温が100℃未満となり復帰		○3/12 6:07 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象（圧力抑制機能喪失） →3/15 7:15 圧力抑制室の水温が100℃未満となり復帰
	○原災法第10条特定事象（敷地境界放射線量上昇 [5μSv/h]） 3/14 22:07（モニタリングポスト [1]）、3/15 0:12（モニタリングポスト [3]） …福島第一原子力発電所の影響による。 →4/3 9:30以降、福島第二原子力発電所敷地境界における放射線量（モニタリングポストの値）は5μSv/hを下回って推移。 〈参考〉当社ホームページ：モニタリングによる計測状況： <a href="http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html</a>			

\*：冷温停止・・・原子炉水の温度が100℃未満となり安定的に停止した状態。



M : 電動機

HPCS: 高圧炉心スプレイ系  
HPCSC: 高圧炉心スプレイ補機冷却系  
HPCSS: 高圧炉心スプレイ補機冷却海水系

高圧炉心スプレイ系 系統構成図